

可溶性でアッセイに使用可能な タンパク質を48時間で入手

The eProtein Discovery™ 可溶性タンパク質ワークフロー

可溶性タンパク質の発現系構築

従来のタンパク質発現および精製ワークフローは、完了までに数週間から数か月を要することがあります。コンストラクト設計、発現宿主の選定、バッファー条件の最適化などを何度も繰り返しても、得られるタンパク質はしばしば不溶性、不安定、あるいは活性を持たないことがあります。

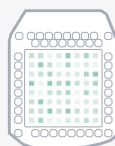
Nucleraは48時間で目的タンパク質の取得を可能にします

Nucleraの可溶性タンパク質ワークフローは、AIによるコンストラクトデザイン、高性能な可溶化タグ、カスタマイズ可能な無細胞発現条件の構築、自動化された発現および精製スクリーニングにより、タンパク質プロジェクトパイプラインを加速します。



24時間で スクリーニング

可溶化タグ、トランケーション、遺伝子多型、アイソフォームを含む**24のDNAコンストラクト**と**8つの発現条件**をスクリーニングします。



自動化された 発現と精製

ナノ液滴デジタルマイクロフルイディクスカートリッジを用いて、**192 (24x8)**の条件と発現量の多い上位30条件の精製までを自動スクリーニングします。



不溶性タンパク質を 回避する

オンカートリッジ蛍光により、可溶性タンパク質を定量します。



48時間でアッセイ可能な 可溶性タンパク質を取得

可溶性かつ高収率な発現条件のスクリーニングとアッセイ使用に十分なボリュームへのスケールアップを48時間で行います。

一貫したワークフローで、アッセイに使用可能な可溶性タンパク質を $\mu\text{g}\sim\text{mg}$ スケールで入手可能にします

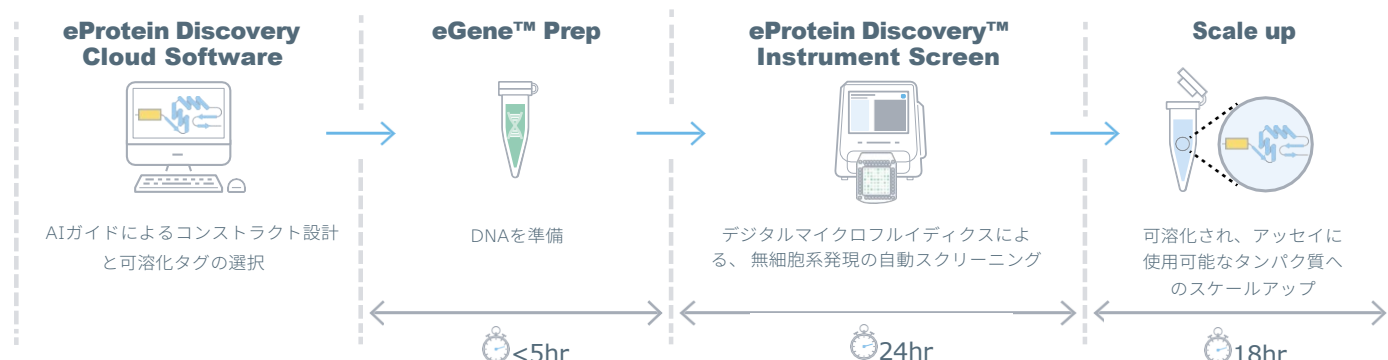


Figure 1. eProtein Discovery™ を用いた可溶性タンパク質スクリーニングワークフロー

信頼ある実績：主要研究対象となる1000以上のタンパク質で発現・精製に成功

キナーゼから転写因子、18から300kDaのタンパク質まで、1000種類以上スクリーニングとスケールアップに成功しているeProtein Discovery™は、再現性よく、アッセイに使用可能なタンパク質を取得します。

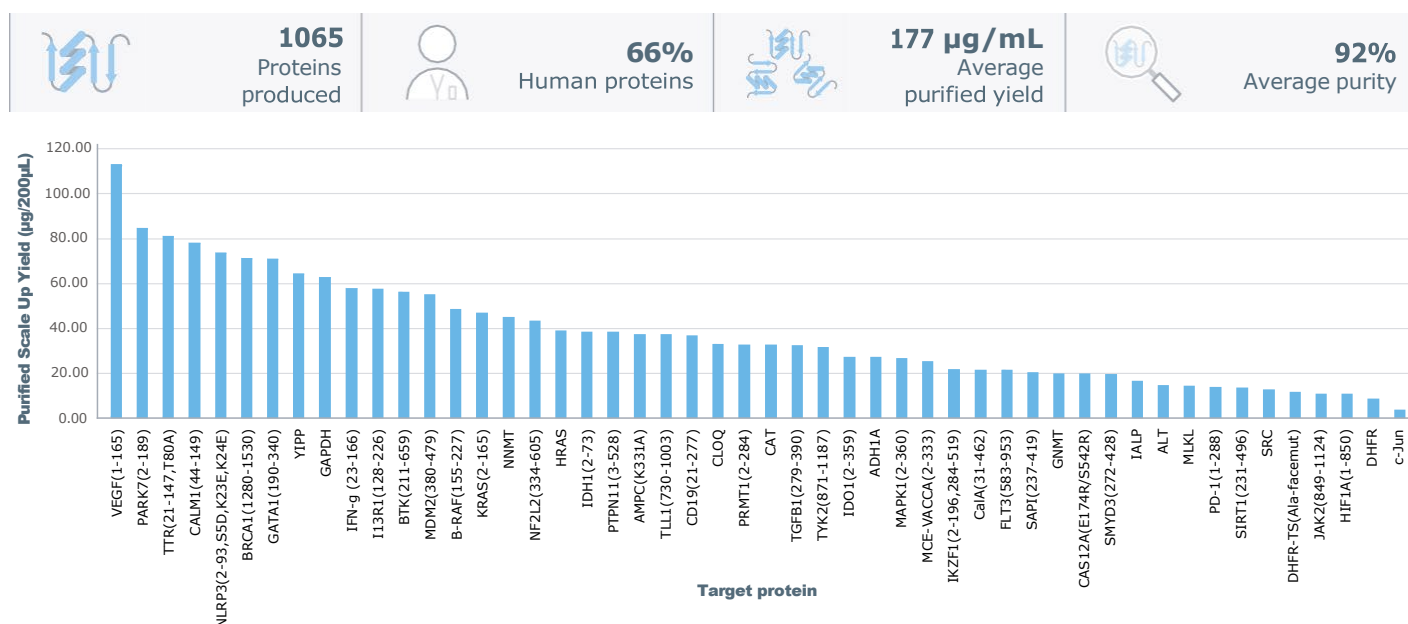


Figure 2. eProtein Discovery™ によって生成された可溶性タンパク質の例

以下も含む：サイトカイン、転写因子、キナーゼ、シングルドメイン抗体、RAS経路タンパク質、調節因子、代謝タンパク質、ユビキチンリガーゼ

eProtein Discovery™は、可溶性でアッセイに使用可能なタンパク質をわずか48時間で取得可能にします。

輸入販売元

KIKO・TECH
キコーテック株式会社 事業開発部

本社 大阪府箕面市船場西三丁目10番3号
〒562-0036 TEL 072(730)6790 FAX 072(730)6795
東京支社 神奈川県川崎市中原区新丸子東三丁目1200番地 KDX武蔵小杉ビル
〒211-0004 TEL 044(430)3245 FAX 044(433)4390

<https://www.kiko-tech.co.jp/>



・記載の内容は2025年9月現在のものです。
・記載の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
・掲載製品は研究用にのみ使用できます。診断目的及びその手続き上での使用はできません。